公共事業新規箇所評価調査

評価確定日(令和2年8月6日)

事業コード	R2-建-新-02		区 間	● 国庫補助 ○ 県単独			
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課			
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2483			
路線名等	国道 285号		担当課長名	道路課長 浅井 学			
箇所名	北秋田郡上小阿仁村沖田面		担当者名	副主幹(兼)班長 碓石 信太郎			
プランと の 関 連	政策コード	04	政 策 名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略			
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備			
	指標コード	02	施策目標(指標)名	高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網の形成			
1. 事業の概要							
事業期間	R 3 ~ R 14 (12 年)		総事業費	42.0 億円	国庫補助率 59.00		
事業規模	延長 L=3,880m 幅員 W=6.5(9.5)m (1.50-3.25-3.25-1.50)						
事業の立案に 至る背景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道285号は、潟上市と大館市を結ぶ一般国道である。主要都市である潟上市、北秋田市、大館市を連絡する幹線道路として、物流や観光などの産業振興や、救急医療、地域防災の機能を担う極めて重要な路線である。 ○ 当該区間には、急カーブ(最小曲線半径75m)が多数存在するほか、終点部には急勾配(最急勾配8.4%)が存在し、さらに、通学路であるにも関わらず歩道が設置されていないため、事故が多発し、整備の優先度が高い。 ○ 道路利用者及び地域住民の安全を確保するとともに、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能向上を図るため、早期に整備を実施する必要がある。 						
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網を形成する路線として機能を強化 ○ バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性向上 ・通過交通の排除による沿線住民の安全性向上 ○ 緊急輸送道路としての機能を向上(第二次緊急輸送道路) 						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 以降
	事業費		4,200,000	50,000	100,000	400,000	3,650,000
	経費内訳	工事費	3,590,000			278,000	3,312,000
		用補費	390,000			120,000	270,000
		その他	220,000	50,000	100,000	2,000	68,000
	財源内訳	国庫補助	2,478,000	29,500	59,000	236,000	2,153,500
		県 債	1,549,800	18,400	36,900	147,600	1,346,900
その他							
一般財源		172,200	2,100	4,100	16,400	149,600	
事業内容			路線測量 道路詳細設計 地質調査	橋梁詳細設計 用地測量 建物調査	本工事 用地補償	本工事 用地補償	
調査経緯	○ 令和元年度 道路予備設計						
上位計画での 位置付け	○ 第3期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略「秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略」を推進する事業						
関連プロジェクト等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上小阿仁村過疎地域自立促進計画 ○ 第2次北秋田市総合計画 						
事業を取り 巻く情勢の 変 化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年6月、平成30年5月には車両相互による正面衝突等の死亡事故が発生しているなど、平成20年から平成30年の11年間で計11件の人身事故が発生している。 ○ 上小阿仁村から道路の整備について、要望書が提出(平成30年) ○ 沖田面集落、福館集落から道路の整備について、要望書が提出(平成30年) 						
事業効率把握 の手法	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無			
	目 標 値 a	94.1 % (R3末)	データ等の出典	道路課調べ			
	達 成 値 b	94.1 % (R1末)					
	達成率 b/a	100.0 %	把握の時期	令和 2 年 4 月			
※第3期ふるさと秋田元気創造プランにおける目標値を記載。							

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○ 本路線は、物流道路として利用されているため、大型車混入率が高い状況となっているほか、通学路であるにも関わらず、集落内は歩車道の分離がなされていない。また、最小曲線半径75mの急カーブが多数存在するほか、最急勾配8.4%の急勾配もあるため、人身事故が多く発生しており、早期に解消する必要がある。	30点
緊 急 性	○ 当該区間の周辺には、代替となる幹線道路がないことから、事故等により通行止めとなった際に、広域的な迂回が発生している。 ○ 当該箇所の南側及び北側は改良済となっており、一連の整備効果を発揮するためには、早期の事業化が必要である。	13点
有 効 性	○ 第二次緊急輸送道路に指定されており、道路整備による機能向上が期待される。 ○ 最寄りの救急医療施設である北秋田市民病院へのアクセス路線であり、地域医療支援の観点からも整備が必要である。	10点
効 率 性	○ 事業の費用便益比は1.60であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 34億円 ・総便益の現在価値 54億円 ○ 計画交通量は6,900台/日である。	15点
熟 度	○ 上小阿仁村より道路整備の要望書が提出されている。 ○ 沖田面集落、福館集落より道路整備の要望書が提出されている。	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	83点
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評価結果から事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R2-建-新-02)
箇所名 (北秋田郡上小阿仁村沖田面)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	3箇所以上	17	17	・最小半径75m ・最急勾配8.4% ・冬期堆雪巾無し 計3項目
		2箇所	2箇所	12		
		1箇所	1箇所	7		
		該当箇所なし	該当箇所なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 ≥ 1.0 又は走行速度 ≤ 30 km/h ・現道の事故率 ≥ 50 件又は重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	3項目該当	3項目該当	18	13	・重大事故発生(H26.H30) ・通学路で歩道無し 計2項目
		2項目該当	2項目該当	13		
		1項目該当	1項目該当	8		
		該当項目なし	該当項目なし	0		
	計				35	30
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	あり	7	0	
		なし	なし	0		
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	あり	7	7	・交通事故の際、広域迂回が発生。
		なし	なし	0		
同一路線の整備状況	整備済み	整備済み	6	6	・南沢バイパス工区 ・滝ノ沢バイパス工区 等	
未整備	未整備	0				
計				20	13	
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送道路	第1次輸送道路	第1次輸送道路	5	4	・第2次輸送道路
		第2次輸送道路	第2次輸送道路	4		
		第3次輸送道路	第3次輸送道路	3		
		指定なし	指定なし	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	アクセス性向上に大きく貢献	5	3	・北秋田市民病院 (二次救急医療機関)
		アクセス性向上に貢献	アクセス性向上に貢献	4		
		アクセス性向上に一定の効果	アクセス性向上に一定の効果	3		
観光・産業の活性化	活性化に大きく貢献	活性化に大きく貢献	5	3	・秋田地域と北秋田地域を短絡し、地域間交流に寄与	
	活性化に貢献	活性化に貢献	4			
	活性化に一定の効果	活性化に一定の効果	3			
計				15	10	
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	1.0以上	10	10	・B/C=1.60
		1.0未満	1.0未満	0		
	計画交通量	4,000台/日以上	4,000台/日以上	5	5	・6,900台/日
1,000台/日以上~4,000台/日未満		1,000台/日以上~4,000台/日未満	3			
計				15	15	
熟度	地元の状況					
	地元ニーズ	要望あり	要望あり	10	10	・上小阿仁村より要望書
		要望なし	要望なし	0		
	地元の協力体制	あり	あり	5	5	・沖田面集落会及び福館集落会から要望書
なし		なし	0			
計				15	15	
合計				100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		